



大分県における 地域・職域連携の推進



大分県福祉保健部健康づくり支援課
吉富 豊子

大分県の概況

人口：1,113,749人

高齢化率：33.7%

(R3.10.1現在)

総面積：6,341km²



大分県の日本一

- ◆ 男性の健康寿命 (R1年)
- ◆ 温泉源泉総数
- ◆ 温泉湧出量
- ◆ 地熱発電電力量
- ◆ かぼす、乾しいたけ生産量 …等



日本一の
おんせん県おおいた
みりよく
味力も満載

大分県における健康づくり事業の体系

1 健康寿命延伸県民運動推進事業

健康寿命日本一おおいた創造会議や県民大会の開催，健康寿命延伸推進月間（10月），おうえん企業との連携

健康寿命の延伸を阻む生活習慣病の予防



塩分摂取が多く，野菜摂取が少ない

・男女とも、野菜摂取量が不足

【男性】279.6g 【女性】293.2g

特に，若い世代で不足！

・塩分摂取も目標を上回る

【男性】10.4g 【女性】8.8g



働く世代における健康づくり

・50歳を過ぎると生活習慣病の受療率が急増

35～44歳 45～54歳

受療率 150 → 521 3.5倍！

→ 健康寿命を縮めることになっていた

・働く世代へのアプローチが不十分

職域における健康支援リソースの不足

歩数の不足



・男女とも、歩数「1,500歩/日」不足

男性 7,599歩（目標 9,000歩）

女性 6,954歩（目標 8,500歩）

2 「食」環境の整備

(1) 「まず野菜、もっと野菜」プロジェクト事業

野菜摂取促進に向け、生産・流通・販売等関係者による協議会の設置

若い世代の健康無関心層が野菜を食べたくなる仕掛け

(2) 「うま塩」プロジェクトの推進

旨味成分を上手く使った美味しい減塩レシピの普及

(3) 外食・中食における協力店の拡大

野菜たっぷりや「うま塩」メニュー提供店の登録と紹介

野菜～野菜～野菜～♪



3 地域・職域連携の推進

(1) 「健康経営」事業の登録と認定制度の推進

登録事業所 2,313社 認定事業所 708社（令和4年11月末）

(2) 健康経営推進員の養成研修等事業

養成研修会の開催、推進員による登録勧奨

(3) 健康経営セミナー等，質の向上支援事業

健康経営の実践方法・雇用の多様化に対応するセミナー



4 健康ポイントの付与による健康づくりの推進

(1) 健康アプリ「おおいた歩得（あるとつく）」の利用促進（H29～）

アプリダウンロード数 7,7481（令和4年11月末）

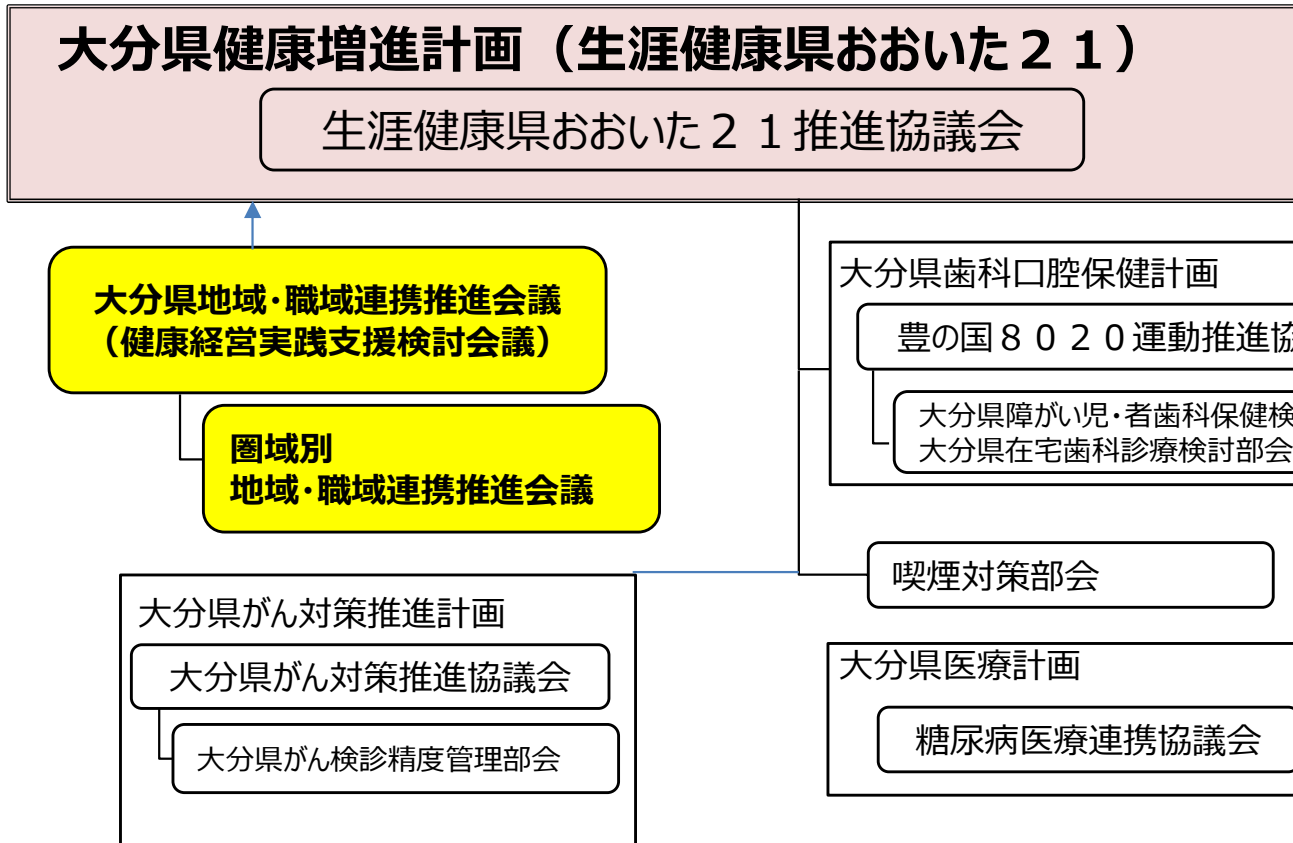
(2) 仲間で取り組める仕組みづくり

職場対抗戦、健康経営事業所内でのイベント開催機能の付与

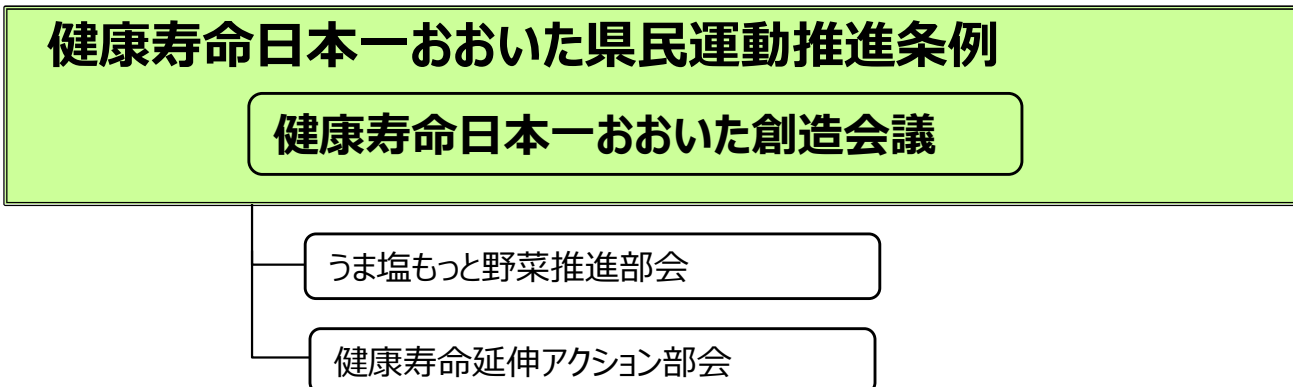


大分県における健康づくり推進体制

【大分県健康づくり支援課所管分】



計画の推進と進行管理



県民運動を推進するための多様な主体との連携の場（プラットフォーム）

大分県における地域・職域連携の経過（Ⅰ）

H18

H19

H20

H21

H22

H23

H24

H25

県の
協議会

保険者協議会
市町村保健師代表
労働局，産業保健推進センター
社会保険事務局 → 協会けんぽ
保健事業団，県医師会
商工会議所連合会
地域成人病健診センター
健康保険組合代表

年1回の開催

課題の共有に終わり、
具体的なアクションにはつながらず、
参加者から不満の声が・・・

協会けんぽから
医療費健診データ
分析結果の提供



課題解決のための方向性を
共有できていなかった

二次医療圏
の協議会

全保健所で開催

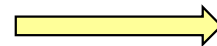
保健所，市町村担当課
労働基準監督署
地域産業保健センター
郡市医師会
社会保険事務所 → 協会けんぽ
商工会議所・商工会
健診センター
健康保険組合代表

年1回の開催

事業所を対象に
ニーズ調査を行う保健所も

協会けんぽから
医療費健診データ
分析結果の提供

健康保険
委員任命



健康保険委員がいる地域の
5～10事業所が参加して、
具体的な議論をする保健所も

大分県における地域・職域連携の経過(2)

県の協議会

H26

年1回

商工労働部や九州経済産業局等との意見交換会



「健康経営」の導入



協会けんぽと協定を締結し県独自の登録・認定制度



H27

県医師会
大分労働局
産業保健総合支援センター
産業保健師代表協会けんぽ
市町村保健師代表
産業医科大学
各保健所担当者

H28

健康経営優秀事業所の知事顕彰 (毎年5社)

H29

健康経営の啓発やセミナーの開催
健康寿命日本一おうえん企業や商工会議所連合会との連携

H30

二次医療圏の協議会

年1回の開催

保健所, 市町村担当課
労働基準監督署
地域産業保健センター
協会けんぽ
商工会議所・商工会
健診センター

事業所のニーズ把握

作業部会の設置 (年2~3回開催)

360件



健康経営セミナーの開催
市町村, 商工会議所等と連携

健康課題の「見える化」
地域版サポートブックの作成等

750件

保健師による事業所訪問

地域・職域連携推進の背中を押したものの

- 1 協会けんぽ大分支部の「一社一健康宣言」の開始（H25年度～）
- 2 県で健康経営事業所登録・認定が始まる（H26年度～）
- 3 県保健師による事業所訪問
- 4 大分県長期総合計画に
「健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～」が
盛り込まれる（H27年度）
- 5 地域の健康課題推進事業（県独自事業：H29～R元年度）
- 6 「地域・職域連携推進ガイドライン」の改訂（R元年度）

協会けんぽ大分支部の「一社一健康宣言」(H25年度～)

ステップ1

①健康宣言!



<事業主>

私たちは、「社員一人一人が、心身ともに元気で働ける会社」＝健康企業を目指します。

健康推進企業 一社一健康宣言

社員の皆さんと取り組む

◆健康診断の実施

法令に従い、社員に対して定期健康診断を実施します。
 ▶ 毎年、定期健診を受けましょう
 健康への第一歩は健診を受けることから始まります。毎年の健診の受診を促進していきます。

◆検査・治療を推奨

健診の結果等で、再検査や治療の必要性があった場合、医療機関への受診を推奨します。
 ▶ 適切な措置をとりましょう
 身体の状態を把握せず、医療機関への受診等、早期対応を実施していきます。

◆生活習慣改善応援

脳梗塞、脳卒中、糖尿病などにかからないように、協会けんぽと支援事業を行います。
 ▶ 生活習慣を改善しましょう
 運動や食事の見直し、そして禁煙等、いつまでも健康で働けるよう自主的に、生活習慣を見直す取り組みを実施します。

Support by 全国健康保険協会大分支部

ステップ2

【企業】



<事業主>

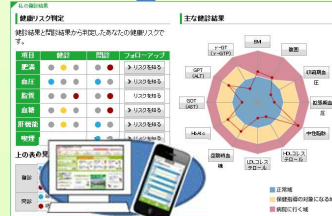


<従業員>

社内の健康増進



企業の健康リスクの「見える化」



健診結果の「見える化」

②見える化したデータ提供

【協会けんぽ】



ステップ3

【企業】



<事業主>

事例紹介

経営理念の浸透

③取り組み促進の支援

【協会けんぽ】



協会けんぽ大分支部との協働

大分県の課題

平成22年の健康寿命が
男女とも全国で下位！
青壮年期の健康づくりの推進が不可欠！

健康づくりのノウハウや人材はいるが、
青壮年にアプローチできない！

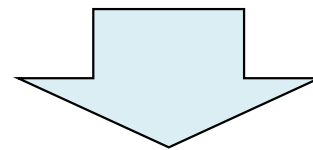
協会けんぽの思い

「一社一健康宣言」した企業に対して
十分な支援ができず、宣言をした企業の
モチベーション低下が心配

青壮年にアプローチする場があるが、
健康づくりのノウハウや人材が不足！

相互の強みを生かした連携

平成26年9月



県商工労働部や九州経済産業局等
との意見交換会

◆ 「大分県の健康づくり推進に向けた連携に関する協定書」締結

◆ 健康経営事業所拡大事業の開始

→ 「一社一健康宣言」事業所を県に登録、県独自の要件で認定を行う

2 健康経営事業所の登録制度の開始

従業員の**健康**を支えたい事業所を応援!



「健康経営事業所」を 認定します

認定のための5つの要件

「社員の健康が気になるな・・・」
「会社で健康づくりに取り組みたい!」
「健康管理って何をしたら良いの?」

健康経営日本
おおいだ
まずは**登録!**



健康経営日本
おおいだ
次に**実践!**



めざせ**認定!**



- ① 健診受診率100%
- ② 事業主主導の健康づくり
- ③ 受動喫煙対策
- ④ 職員に健康情報を提供
- ⑤ 職場ぐるみの健康づくり

3 県保健師による事業所訪問

健康づくりについて、どこから、何を
取り組めば良いかわからない……

協会けんぽ、保健所や
市町村の保健師が
訪問してアドバイス

自社の健康づくりの
取り組みで良いのか……
他社の取り組みを知りたい

健康づくりは必要と思うが、
仕事で手一杯で
時間や費用を割く余裕がない

「職場の健康」について
考える担当者がいない……

「健康経営登録事業所」の声

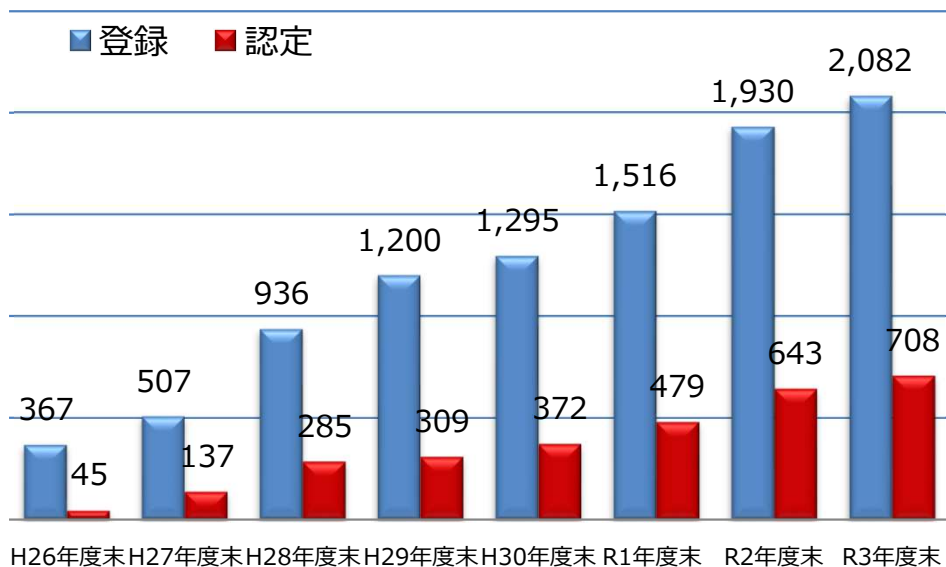
従業員が少ない事業所では、
健診結果の把握等
どこまで行えばよいかわからない……



健康経営事業所の登録・認定状況

経済産業省健康
経営優良法人

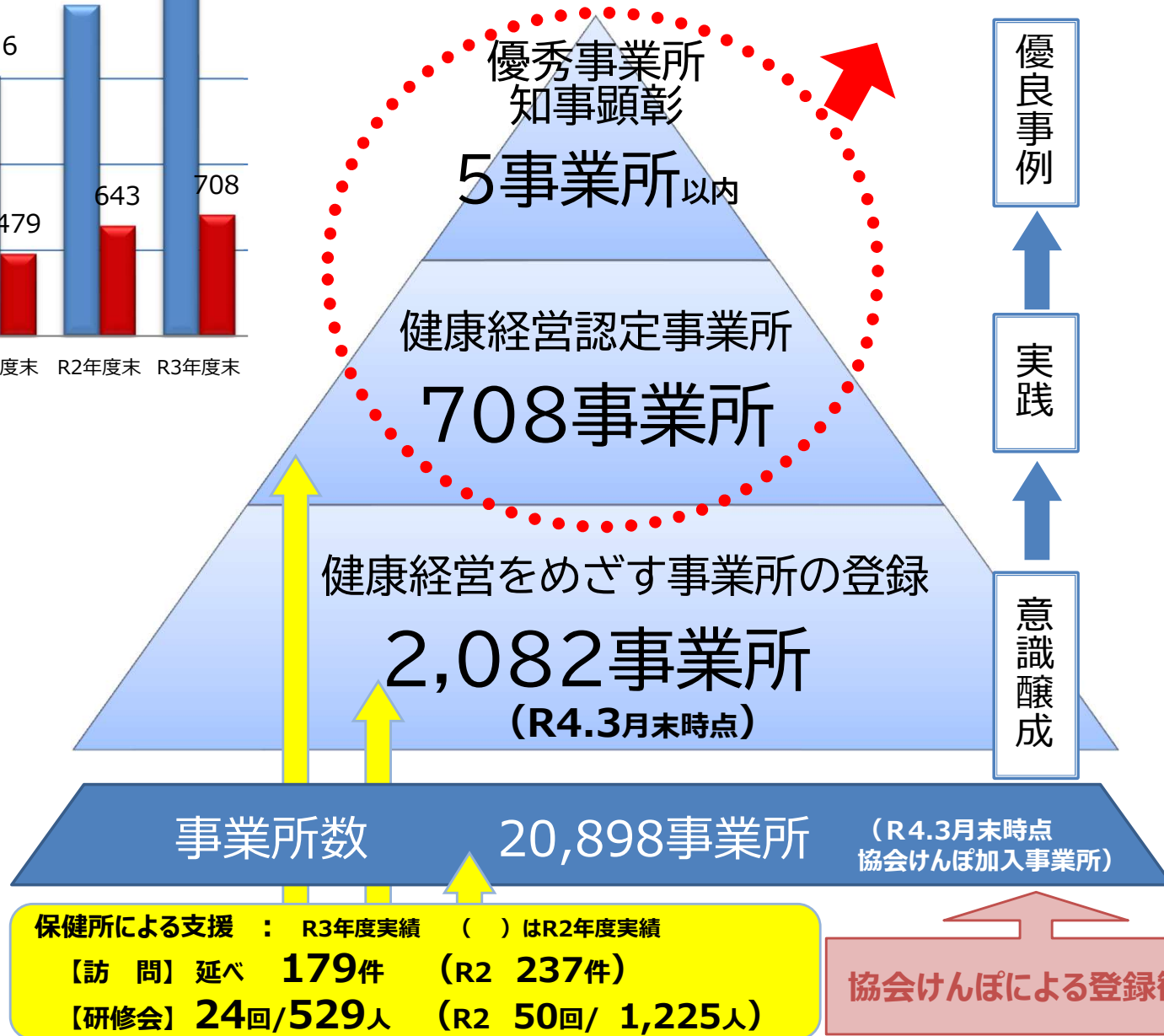
※2022大規模法人部門 ホワイト500 4事業所
" (ホワイト500以外) 12事業所
※2022中小規模部門 89事業所 (うちブライト3)



R3年度 各認定基準の達成率 (N = 1,351 : 実績報告書提出数 64.9%)

認定基準項目	達成率
健診受診率100% 結果の把握100%	87.3%
事業主主導の 健康づくり	95.5%
受動喫煙対策	86.2%
健康情報の定期提供	86.6%
事業所ぐるみの 健康増進の取組	64.6%

大分県健康づくり支援課



4 「健康寿命日本一」に向けたロードマップ(2015~2024年)

施策の展開

第1段階 (2015-2017)

県民運動に向けた機運醸成

- 多様な主体との協働
 - ・健康寿命日本一おおいた創造会議
 - ・健康寿命日本一おうえん企業
- 健康的な社会環境の整備
 - ・うま塩プロジェクト
- 健康状態「みえる化」
 - ・県民健康意識行動調査結果
- 働く世代の健康づくり
 - ・健康経営事業所の拡大
- インセンティブ付与の仕組みづくり
 - ・健康アプリの開発・運営

第2段階 (2018-2020)

全庁的な取組による県民運動の展開

- 多様な主体との共創
 - ・健康寿命日本一おうえん企業間の連携
- 健康的な社会環境の整備
 - ・うま塩メニュー提供店の拡大
- 明らかになった健康課題への対応
 - ・「まず野菜、もっと野菜」プロジェクト
 - ・温泉を活用した休養・こころの健康増進
 - ・自転車の利用促進による心身のリフレッシュ
- 働く世代の健康づくり
 - ・健康経営推進員の養成
- 健康無関心層をひきつける健康づくりの展開
 - ・健康アプリ「歩得」などのICTの活用

第3段階 (2021-2024)

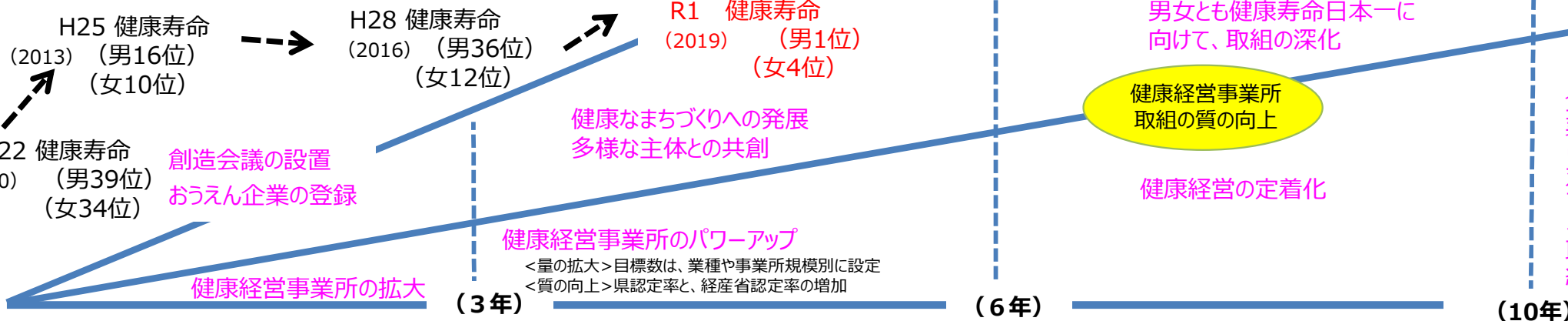
健康長寿・生涯現役社会の構築

- 多様な主体との共創
 - ・県の健康課題を共通テーマにした取組の推進
- 健康的な社会環境の整備
 - ・うま塩×もっと野菜プロジェクト
 - ・休養・リフレッシュにつながる環境整備
 - ・受動喫煙対策アクションプランの実現
- 健康状態「みえる化」
 - ・県独自の客観的な13指標による進行管理
- 働く世代の健康づくり
 - ・健康経営事業所への環境改善アドバイザーの派遣
- 健康無関心層をひきつけるICT活用の健康づくり
 - ・「歩得」機能充実による楽しく続けられる健康づくり

男女共に
(1位)へ

【県民総ぐるみの健康づくり】
健康を支える社会環境の整備

【働く世代の健康づくり】
企業に対する取組



5 地域の健康課題対策推進事業

長期総合計画の取組の柱である「健康寿命日本一」を実現するため、平成28年度に実施した県民健康意識行動調査等により明らかになった市町村の健康課題の解決に向けて、保健所を拠点とした健康増進施策を推進する。

現状

健康寿命

	平成25年	平成28年
男性	71.56歳(16位)	71.54歳(36位)
女性	75.01歳(10位)	75.38歳(12位)

→ 日本一達成には男女ともおよそ2歳のさらなる延伸が必要

健康課題の要因となる生活習慣の地域差の縮小に向けた取組

保健所での健康施策の展開
多様な主体との連携による事業の推進
(委託及び一部直営)

市町村での健康増進施策の促進
(市町村補助「大分県地域健康課題対策推進事業」)
※健康課題の解決の事業に対して支援

【県民健康意識行動調査】

保健所	市町村	調査結果(地域の特性)		テーマ	H31年度事業概要
		調査項目	順位		
東部保健所	別府市	肺がん検診受診(肺がん検診を「受けた」と答えた割合)	18位	がん対策	肺がん検診受診促進事業への補助
	杵築市	自分の歯が28本以上の者の割合(20~39歳)	17位	口腔対策	ライフステージに応じた多機関主体による口腔ケア対策の推進
	日出町	塩分摂取量(塩分相当量)	18位	減塩対策	医療機関、住民組織等とタイアップした節塩対策及び評価分析への補助と事業所への適指指導
国東保健部	国東市	肥満(BMI25以上)の割合	16位	健康対策(栄養)	うま塩ヘルシー弁当等提供店舗への支援と活用促進に向けた普及啓発
	姫島村	肥満(BMI25以上)の割合	18位		
中部保健所	臼杵市	肥満(BMI25以上)の割合	15位	健康対策(運動・栄養)	健康経営事業所等への運動アドバイザー派遣、事業所健康支援マニュアル作成及び事業所ネットワーク化による取組の波及
	津久見市	肥満(BMI25以上)の割合(20~39歳)	18位		
	由布市	定期的運動(1回30分以上、週2回以上)をしている者の割合	18位		
南部保健所	佐伯市	乳がん検診受診(乳がん検診を「受けた」と答えた割合)	18位	がん対策	働き盛り世代へのがん検診啓発事業と女性のがん検診促進への補助
豊肥保健所	豊後大野市	肥満(BMI25以上)の割合(20~39歳)	17位	健康対策(栄養)	減塩グッズを活用した普及啓発と壮年期の肥満対策への補助と食環境整備
	竹田市	自分の歯が28本以上の者の割合	18位	口腔対策	ライフステージに応じた歯周疾患予防教室や普及啓発事業への補助
西部保健所	日田市	定期的運動をしている者の割合(40~64歳)	17位	健康対策(運動)	健康経営事業所等への運動トレーナー派遣とニーズに応じた運動プログラムの作成
	九重町	定期的運動をしている者の割合(40~64歳)	18位		
	玖珠町	定期的運動をしている者の割合	16位		
北部保健所	中津市	毎日たばこを吸う者の割合	18位	喫煙対策	禁煙サポーター育成と飲食店の受動喫煙対策
	中津市	運動仲間がいる者の割合	16位	健康対策(運動)	健康経営事業所への運動トレーナー派遣
	宇佐市	定期的運動をしている者の割合(20~39歳)	16位		
	豊後高田市	定期的運動をしている者の割合(20~39歳)	18位		

→ 地域の特性に応じた健康増進施策の強化

取組を他地域への横展開、市町村の取組の後押し

市町村間の地域格差縮小と健康寿命の延伸へ

おおいた心と体の職場環境改善アドバイザー派遣事業

～大切な社員、長く元気に働いて欲しい～

県が養成した「心と体の職場環境改善アドバイザー」(理学療法士・作業療法士・公認心理師) が事業所を訪問し、従業員の心身の健康度を高めるため、各事業所のニーズにあわせて、職場ぐるみの健康づくりをサポートする。

対象事業所

県の健康経営事業所に登録している事業所で、従業員が50人未満の事業所

事業の流れ

STEP① 申込み

- ☑ 希望の事業所は管轄の保健所または健康づくり支援課へ申し込み
 - ・従業員数が50人未満の事業所であること
 - ・県の健康経営事業所登録事業所であること、もしくは申込予定の事業所であること

STEP② 事前調査

- ☑ 保健所保健師等が事前に訪問し、事前調査を行う（派遣1か月前）
 - ・業務内容 ・作業管理方法 ・従業員の健診結果 ・事業所内の健康づくりの取組み 等

STEP③ 派遣 1回目

- ☑ アドバイザーと保健所保健師等が職場へ訪問①
就業環境を確認し、課題を抽出
 - ・作業管理…準備体操、作業負荷、作業スペース 等
 - ・環境管理…視覚環境、聴覚環境、重量物軽減 等
 - ・健康管理…始業前確認、コミュニケーション 等

STEP④ 処方箋 作成

- ☑ アドバイザーと保健所保健師で健康づくり処方箋作成
改善や取組み可能な点を健康づくり処方箋へ反映
(内容例) ・まずは、良い事業所での取組を支持 ・始業前後のストレッチ
 - ・作業向き筋トレ法 ・作業台の高さ調整 ・作業場の照度向上

STEP⑤ 派遣 2回目

- ☑ アドバイザーと保健所保健師で職場へ訪問②（フォローアップ）
健康づくり処方箋を基に、ミニ講話や運動実践等でフォロー

事業所に応じた
具体的な健康経営への
アドバイス・後押しを実施！



R4年度

20事業所
募集予定

R3年度事例

— 有限会社宇都宮観光（かまど地獄） —

観光・サービス業 従業員数：17名 平均年齢：40代

■ 主な作業の内容

観光施設の誘導案内、地獄蒸し卵の運搬、チケット・物販対応

■ 職場の悩み

- ・同じ姿勢が続く、重いものを運ぶことによる腰痛
- ・持ち場を離れられないため、社員同士の会話の時間が少ない点
- ・コロナの影響による観光客減少に伴うモチベーションの低下

➡ **理学療法士・公認心理師のペアでアドバイザーを派遣**

✓アドバイザーとともに職場環境を確認



健康づくり処方箋（一部抜粋）

		元々意識していた	参考に なった	取り入れ たい	意見
1	朝礼や作業開始前のラジオ体操やからだをほぐすためのストレッチ体操を取り入れる (動画を活用)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	職場ぐるみの取組として別府市オンライン健康教室やおおいた歩得対抗戦に参加する (コミュニケーションの活性化)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	バックヤードの階段は、滑らない素材の靴を使う (運動靴などゴムの底)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	こころの健康のため、これまで通り職場内のコミュニケーションを保持する (出社退社、すれ違い時あいさつ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5	健康講話等をして欲しい (運動、栄養、歯科、こころ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	



作業タイプ別動画
大分県西部保健所作成：大分県理学療法士協会監修

従業員一丸となり、職場ぐるみで参加できる
取り組み、ツールの提案



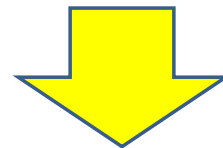
市と一緒に訪問し取組んだことで、
健康づくりの取り組みの選択肢を広げる

6 「地域・職域連携推進ガイドライン」の改訂

【地域・職域連携の基本理念の再整理】

- 在住者や在勤者の違いによらず、地域に関係する者への地域保健と職域保険が連携した幅広い取組の促進
(ポピュレーションアプローチの強化)
- 多様な関係者がメリットを感じられるような健康に関する取組の促進
(健康経営を通じた生産性の向上等)
- 支援が不十分な層 (退職者、被扶養者、小規模事業場) への対応促進

地域・職域連携推進ガイドラインの改訂のポイント」(R元.9.26)より抜粋



より連携の必要性や協働することの意義を伝えやすくなった

大分県における地域・職域連携の経過 (3)

県の協議会

R 1

R2

R3

R 4



県医師会

健康経営推進員の養成

大分労働局

おおいた心と体の職場環境改善
アドバイザー派遣事業

産業保健総合支援センター

禁煙サポート事業 (県薬剤師会委託)

産業保健師代表

協会けんぽ

優れた取組の見える化

市町村保健師代表

(パンフレット、健康サポートニュースなどに掲載)

各保健所担当者



健康経営優秀事業所の知事顕彰 (毎年5社)

二次医療圏の協議会



保健所, 市町村担当課

健康経営セミナーの開催
市町村, 商工会議所等と連携

労働基準監督署

地域産業保健センター

作業部会の設置
(年2~3回開催)



健康課題の「見える化」
地域版サポートブックの作成等

協会けんぽ

商工会議所・商工会

健診センター

451件

237件

179件

保健師による事業所訪問 (市町村保健師や協会けんぽとの同伴訪問もあり)

地域・職域連携の推進の要因（1）

（1）県が「健康経営事業所登録・認定」を開始したことにより、事業所へ介入しやすくなった。

- 保健所保健師の事業所訪問につながった（対象が明確になった）
 - ・実態把握、健康課題の把握、セミナーへの案内等
- 「健康経営」という明確なビジョンを示したことで、生産性の向上や経営の安定等、従業員の健康づくりに取り組む意義を事業主にもアピールできた
- 「健康経営」の認定要件により、めざす姿を具体的に示した
 - ・何をすれば、「健康経営」なのかをイメージできた
 - ・健康課題が見えるようになった
 - ・「認定」や知事表彰が、インセンティブにもなった

地域・職域連携の推進の要因(2)

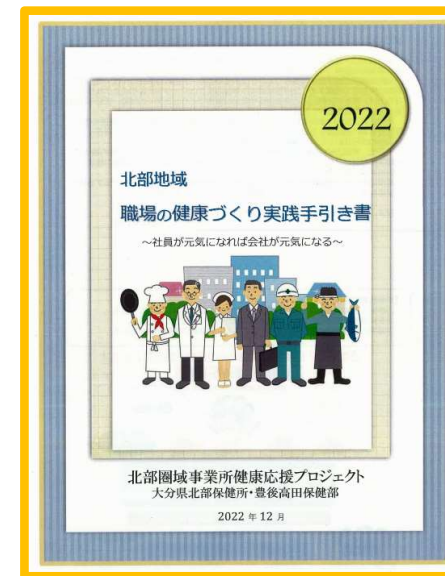
(2) 関係者各々の使命を互いに理解した上で接点を見だし、協働できることを探りながら、事業企画できるようになった。

- 保健所では、具体的な取組を企画・運営するため、自然と「作業部会」や「実務者会議」などの下部組織を置き、取り組みを進めた。
- 地域・職域関係者が同じ方向を見て事業所に介入できるようになった。

健康経営認定事業所の取組報告



プロジェクト共通支援ツールの作成



地域・職域連携の推進における効果（メリット）

- (1) 保険者や市町村などが実施する保健事業や健康イベントなどを活用し、よりインセンティブやアプローチの手段を増やすことができた。
- (2) 職場における健康づくりを推進することで、ポピュレーションアプローチが進んだ。
 - ・職場ぐるみの健康イベント開催や雰囲気醸成
 - ・健康的に働ける職場環境づくり
- (3) 市町村においても働き盛り世代へのアプローチは課題になっていたが、地域・職域連携を通じて、事業所に介入できるようになった。
 - ⇒市町村における健康増進計画の実効性を高める
 - 市レベルで地域・職域連携を進めているところも！

地域・職域連携の推進における今後の課題

- (1) 県での取組と二次医療圏域での取組を両輪として進めていくとともに、市町村レベルにおける取組への展開にも波及させていく。
- (2) 職場ぐるみの健康づくりを推進するためのツールを確保する。
職場ぐるみで楽しみながら健康づくりを継続する仕組みの創出・相互利用
- (3) 保険者協議会や産業保健関係者との連携により、切れ目のない保健サービス、健康情報の提供、生活習慣病重症化予防支援についても検討していく。